

令和7年度上大久保中学校だより

# 上中だより

## 第1号

令和7年4月8日(火)発行

## 学校教育目標

「温かい学校 感動あふれる学校」

さいたま市立上大久保中学校

〒338-0824 さいたま市桜区上大久保861-1 Tel.855-3901

<http://kamiokubo-j@saitama-city.ed.jp>

## 「温かい学校 感動あふれる学校」

校長 たかく まさゆき 高久 正行

校内に咲き誇った桜のもと、本校創立46年目となる令和7年度が本日始まりました。新たに15名の教職員を迎え、教職員一同、「生徒一人ひとりのWell-being(幸せ)を保障する学校」を目指して、教育活動を行ってまいります。また、引き続き、生徒ともに地域に愛される学校として、地域に貢献できるよう努めてまいります。令和7年度もどうぞよろしくお願いいたします。



生徒の皆さん、保護者の皆様、ご入学並びにご進級おめでとうございます。

令和7年度は、新入生161名を迎え、2年生163名、3年生150名、教職員47名でのスタートとなります。学校教育目標「温かい学校 感動あふれる学校」を掲げ、上大久保中学校に関わる全ての皆さんと共に協力しながら、日々感動あふれる体験をできることを願っています。

さて、この時季になると、連日、桜の話題が至る所で取り上げられます。3月の修了式の際も、朝日新聞の「天声人語」のコラムから、「桜は、春先になると幹や樹皮、樹液までがピンクとなり、木全体で懸命になって最上のピンクの色を作り出し、ほんの先端だけその姿を出している」ということ、詩人の大岡 信さんは、この桜の話から『言葉』も実は桜の花びらのピンクと同様に、『美しい言葉、正しい言葉とは、表面的な美しさや正しさではなく、それを発した人の思い、気持ち、その基盤となる人間性によるものだ』と随筆の中で述べていることを紹介し、現在は比較的容易に多くの情報を手に入れられるので、知らないことを知る喜びを味わってほしいという話をしました。私自身その後も、「お花見ブーム」を作ったのが江戸時代の将軍徳川吉宗だということ、川沿いに多く桜が植えられた理由、学校に桜が植えられるようになった理由等、桜にまつわる様々な逸話を知ることができました。今年、「2025年大阪・関西万博」が「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、4月13日から184日間の日程で開催されます。「万博」は世界中からたくさんの人やモノが集まるイベントで、地球規模のさまざまな課題に取り組むために、世界各地から英知が集まる場であり、20年ぶりに日本で開催される国際博覧会とのことです。「万博」では新しい技術や商品が生まれ生活が便利になる「きっかけ」となり、エレベーター(1853年、ニューヨーク万博)/電話(1876年、フィラデルフィア万博)/ファミリーレストラン、ワイヤレステレフォン、電気自動車、動く歩道(1970年大阪万博)/ICチップ入り入場券、AED、ドライミスト(2005年愛知万博)が例として挙げられていました。また、今回の万博が目指すものの一つとして、「持続可能な開発目標(SDGs)達成への貢献」も掲げられていました。国連が掲げる「SDGs(持続可能な開発目標)」達成の目標年である2030年まで残り5年となる中で、「大阪・関西万博」は、SDGsを2030年までに達成するためのプラットフォーム(特定の機能やサービスを提供する基盤のこと)になるとのことで、どんな最先端技術等が見られるのか興味が尽きません。大阪での開催ということで、足を運ぶのはなかなか難しいですが、情報を容易に得られる今だからこそ、積極的に情報を収集し、「新たな知」を通じた感動も思う存分味わってほしいと思っています。

本年度も授業、学校行事、委員会活動、部活動等における人と人とのつながりを大切にした「温かさや感動」に重き置き、生徒一人ひとりの可能性を伸ばしていけるよう努めてまいりたいと思っております。引き続き、保護者、地域の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



### 新しい体育着とジャージを導入しました!!

令和7年度の1年生から新しい体育着とジャージを順次導入していきます。「体育着」は吸汗・速乾性等に優れた軽量素材で、正面に学年色のグラフィックが入っています。「ジャージ」も防風素材で体温調節機能付きの軽量素材で、ハーフジップのものとなりました。学校名のロゴは、本校美術科教員のデザインしたものを採用しました!